

江戸時代から見る 差別の構造

講演 田中 優子

【略歴】1952年、横浜市出身/江戸文化研究者

法政大学前総長、名誉教授、江戸東京研究センター特任教授

【著書】『江戸から見ると』（青土社）、『遊郭と日本人』

（講談社）、『苦海・浄土・日本 石牟礼道子 もだえ神の精

神』（集英社）、『江戸の想像力』（ちくま学芸文庫）等多数



9月9日（土）午後2時～4時（開場1時半予定）

藤沢商工会館ミナパーク6F 多目的ホール

【送迎予約制】

※寒川方面の方；町民センター（午後12時30分出発）から送迎もあります。

※大庭方面の方も、クリエイト駐車場裏（午後13時出発）送迎があります。

参加費：当日1,000円/事前申し込み800円/大学生500円/中・高生無料

☆zoomあり；ご希望の方は事務所までアドレスをお知らせください



近代日本の首都圏に未曾有の被害をもたらした関東大震災の発生から今年9月1日で100年。死者・行方不明者は約10万5千人とされています。他方、「朝鮮人が放火した」「井戸に毒を入れた」といった等のデマが流布され、植民地支配下にあった在日朝鮮人6000人以上、中国人約750名が虐殺されたという記録が残っています。にもかかわらず、日本政府はこの問題を公式に認めていません。

現代においても、ヘイトスピーチ等により在日の方の生活を脅かす行動、改悪入管法に見る、人権迫害等、社会には「差別」が蔓延しています。

私たちが歴史から何を学び、生かすべきか、今回は、江戸文化研究の第一人者である田中優子さんをお招きし、今の差別に歴史がどう関与しているか等をご講演いただきます。ふるってご参加ください。

【主催】あべともこと共に歩む会/立憲民主党神奈川第12区総支部

TEL：0466-52-2680 FAX：0466-52-2681

E-mail：inochi@shonanfujisawa.com